

平成24年度予算 新規・充実事業一覧

(単位：千円)

建設局 予算要求の内容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
烏丸通・緑の道路環境整備事業	<p>烏丸通は、京都駅から京都御苑までの「行幸道路」として拡幅された歴史を持ち、現在も京都市中心を南北に通じるメインストリートである。</p> <p>本事業は、烏丸通の丸太町通から塩小路通までの区間（直轄国道である五条通～七条通を除く）において、緑豊かな京都市のメインストリートとするため、緑の道路環境の創出と自転車通行環境の改善を図るものである。</p> <p>平成24年度は、丸太町通から御池通の区間において、街路樹の植樹等を実施する。</p>	73,900	<p>建設企画部 建設企画課 222-3551</p> <p>道路建設部 道路環境整備課 222-3570</p> <p>水と緑環境部 緑政課 222-3589</p>
梅小路公園の魅力向上と周辺地域の活性化	<p>京都水族館の建設と鉄道博物館（仮称）建設計画を契機に、梅小路公園の再整備及び周辺地域の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 梅小路公園充実事業 梅小路公園の施設充実や災害時の緊急避難場所としての機能充実を目的として平成24年度はJR社宅跡地の設計を行う。 このほか、大河ドラマ「平清盛」の放映を契機として、平清盛ゆかりの西八条第跡の一角である「朱雀の庭」や「いのちの森」等の緑の文化資源を持つ梅小路公園を、広く市民にアピールすることで、梅小路公園の魅力を再発信する。 ○ 梅小路公園周辺整備事業 梅小路公園周辺地域における歩行者の回遊性向上と地域活性化を目的として、安心安全な歩道整備や休憩スペースとなる街区公園のバリアフリー化等を実施する。 また、地域住民や関係団体が自らまちづくりに参画できるような環境づくりも併せて取り組む。 平成24年度は、七条通（大宮通～JR高架下）における道路設計、西新屋敷公園の設計等を行う。 	51,700	<p>建設企画部 建設企画課 222-3551</p> <p>道路建設部 道路環境整備課 222-3570</p> <p>水と緑環境部 緑政課 222-3589</p>
都心細街路における安全でゆとりのある歩行空間の創出 （「歩いて楽しいまちなかゾーン（仮称）」）	<p>歩行者の安全な歩行空間を確保するための道路拡幅や歩道の整備が困難な都心の細街路において、幹線道路に囲まれた地域を「歩いて楽しいまちなかゾーン（仮称）」と指定し、ゾーン内交通の速度抑制対策や路側帯の拡幅による整備を行うことで、安全でゆとりのある歩行空間を創出する。</p> <p>具体的な事業内容としては、細街路への入口部や細街路交差点において、区画線の引き直しやカラーライン等による車線幅員の狭小化（路側帯の拡幅）や狭窄部を設置することにより、安全でゆとりのある歩行空間の創出と自動車の速度抑制を図ることとしている。</p> <p>平成24年度は、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を推進している「歴史的都心地区」（四条通、河原町通、御池通及び烏丸通で囲まれた地区）において、先導的に取組を実施する。</p>	33,600	<p>建設企画部 建設企画課 222-3551</p> <p>土木管理部 調整管理課 222-3568</p>

建設局予算要求の内容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
京の都市基盤防災・減災対策プロジェクト	<p>道路や橋りょうは、災害時の避難・救援、その後の復旧・支援活動の要であり、排水機場は浸水被害から都市を守るための重要な社会基盤施設である。また、駐車場及び駐輪場も一般利用の多い市民生活に密着した重要施設である。</p> <p>本年3月に発生した東日本大震災や近年多発するゲリラ豪雨等の被害を目の当たりにして、災害に強いまちづくりに向けた防災対策のスピードアップは喫緊の課題であり、災害時においても、健全な都市機能が確保できるよう、平成24年度は以下の取組を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 橋りょう耐震補強 東日本大震災を受け、緊急輸送道路など人員・物資を搬送するためのルートを確認する必要性が明らかになった。とりわけ、緊急輸送道路上の橋りょうや鉄道・道路上に架かる橋りょうなど都市防災上重要な橋りょうは、崩壊すれば被害の拡大を招くため、早期に耐震補強が必要である。 このため、橋りょうの耐震補強を計画的に進めて、災害時における都市機能の確保に努める。 ○ 災害防除（道路に面する斜面等の防災対策） ○ 排水機場維持管理計画及び排水機場維持補修（耐震改修） ○ 駐車場耐震改修並びに駐車場及び駐輪場耐震診断解析 	算定中	土木管理部 調整管理課 222-3568 自転車 政策課 222-3565
石畳舗装維持補修	<p>風情を感じさせる趣のある石畳舗装が、車両通行等の影響から著しく損傷しており、通行に危険があると同時に、点在する補修跡が景観を損ねていることから、これらの石畳舗装を修繕し、通行の安心・安全を確保するとともに、京都らしい景観を保全し、観光都市京都の発展に寄与するものである。</p> <p>平成24年度は新橋通などにおいて、石畳舗装の補修を実施する。</p>	58,000	土木管理部 調整管理課 222-3568
京都御苑周辺道路の歩行空間改善事業	<p>今出川通、烏丸通、丸太町通の京都御苑側の歩道については、歩行者と自転車との接触事故や御苑側水路への転落事故の危険性が高く、改善が求められている。</p> <p>このような状況を改善するため、転落防止柵の設置やバス停、横断歩道部におけるデッキ等の設置を行うものである。</p> <p>また、使用部材については、当該区間が京都御苑に隣接するため、環境・景観に配慮した、間伐材を利用する。</p> <p>平成24年度は、烏丸通の横断歩道部（3箇所）においてデッキを設置する予定である。</p>	12,000	土木管理部 調整管理課 222-3568
LED道路照明灯の設置	<p>道路照明灯のうち66,000基を超える蛍光灯について、将来的な維持管理費を縮減するとともに、更なる節電・長寿命化・低炭素化を進めていくため、LED道路照明灯を導入していく。</p>	201,700	土木管理部 調整管理課 222-3568

(単位：千円)

建設局予算要求の内容			
事業名	事業概要	要求額	所管課 電話番号
無電柱化事業	<p>電線共同溝を新設し、景観を阻害している電柱・架空電線類を取り除くことで、歴史都市京都にふさわしい景観の保全再生、地域・観光の活性化、安全で快適な通行空間の確保及び都市防災の向上等を図るものである。</p> <p>平成24年度は以下の路線で新たに設計又は工事に着手する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 京都日吉美山線（愛宕街道） ○ 宇多野嵐山山田線（渡月橋南詰） ○ 宇多野嵐山山田線（長辻通） 	260,000	道路建設部 道路環境整備課 222-3570
自転車通行環境整備事業	<p>平成22年度に実証実験を実施した御池通等において、自転車通行環境の整備に着手し、自転車と歩行者、自動車が共存可能な道路環境の形成を目指していく。</p> <p>平成24年度は、御池通（烏丸通～御池大橋の北側歩道）などにおいて、自転車通行環境の整備を実施する。</p>	62,600	道路建設部 道路環境整備課 222-3570
緑視環境向上プロジェクト～新・緑の基本計画の推進～	<p>平成22年3月に策定した緑の基本計画を推進するため、「緑視環境の向上」を重点テーマに、平成24年度は下記事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 街路樹リフレッシュ更新計画策定 ○ 桜景観創造プロジェクト ○ 緑のボランティアセンター設立 ○ 市民公募型緑化推進事業 ○ 公園緑地ナラ枯れ被害対策 	98,600	水と緑環境部 緑政課 222-3589
高瀬川再生プロジェクト	<p>現在、石積護岸のいたるところで損傷や老朽化に伴う漏水が発生しており、夏季においては干上がって悪臭を発生させる等の問題が生じている。</p> <p>そこで、漏水防止及び護岸の崩壊などを予防するため、取水口～五条までの間を、第一期補修工事として実施する。</p> <p>また、周辺のまちづくりや観光振興、景観性向上の視点から、歩道の破損箇所の補修や周辺付属物の更新等を併せて行う。</p> <p>平成24年度は、取水口～高瀬川御池橋において、護岸の補修工事などを実施する。</p>	61,500	水と緑環境部 河川整備課 222-3591
建設局 合計		913,600	